

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0981
施設名	池上長尾保育園
施設所在地	大田区池上8-25-6
法人名	社会福祉法人 長尾会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

私の好きなスペース作り

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

- ・当保育園は、五感での活動を大切にしており、特に乳児は夏に感触遊びを楽しんでいます。感触遊びをする事で、幼児クラスで造形活動を行う際に、ノリや絵の具の活動をスムーズにする事ができます。感触あそびはわかめやはるさめ、オフ、泡などを使っていましたが、今回は足でもダイナミックに感触を楽しめるように感触遊び用の絵の具やバスゼリー等も安全に配慮しながら使いました。

## 2. 活動スケジュール

計7回（11月1回、12月3回、1月3回）

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・マグネットパネルやダンボールが広げられるスペースで行った。
- ・ダンボールは、同じ大きさの物を用意する時と、別の大きさの物を用意する時と環境を変えて行った。
- ・ダンボールやマグネットパネルスペースを「バス」「電車」「家」等見立て始めたので、きっかけで、入り口を作ったり、形を保育者も一緒に作るようにした。

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・マグネットパネルをあらかじめいい大きさに組んで置き、中に入ったり、出たりしながら、子どもたちそれぞれが、好きなスペースを見つけて遊ぶ。
- ・ダンボールの組み立て方を伝え、好きな大きさを選んで中に入ったり、何かに見立てて遊ぶ。
- ・自分の好きなスペースに自分の好きな玩具を持っていきあそぶ。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・マグネットパネルで仕切られた空間は、ゆっくり入りながら空間の中の様子を観察しているようだった。「みてみて、おうち」などと言いながら、中に入って自分が落ち着ける場所を探しているようだった。回数を重ねる中で、自分の好きな大きさにパネルを組みかえたり自分でしていた。
- ・ダンボールでの空間づくりは、始めは中に入り楽しんでいたが、「ドアつくりたい」「おおきくしたい」など保育者に言い、自分の好きな大きさや形に変えて楽しんでいた。また、1歳児よりも2歳児の子どもたちの方が、お友だちと一緒に空間に入ったり、空間の中でごっこあそびをおこなっていた。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

・いつも慣れ親しんでいる部屋でも、マグネットパネルやダンボールでスペースを作るといつもと違う空間になる。はじめは子ども達がそれぞれ、自分の好きな空間を作ってその中で思い思いに過ごしていた。(寝転んだり、自分のお気に入りの玩具や絵本を持ってきたり)回数を重ねていく毎に、明確に自分の好きな大きさのスペースがあり、自分でそれを作っている事に気付いた。子どもによっては、小さい空間に入って落ちていたり、大きいスペースにお友だちと入って落ち着いている子もいる。2歳児クラスのお友だちは、スペースを何かに見立てて、「電車」「バス」「家」などごっこあそびに発展させている子もいた。

2. 活動報告（注1）

番号	2					
テーマ	私の好きなスペース作り					
実施回数・期間 (注2)	合計7回（11月1回、12月3回、1月3回）令和7年11月～1月					
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
	12人	14人	15人			
活動内容 (注3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マグネットパネルやダンボールなどで、自分の好きなスペースで楽しむ。</li> <li>・友だち同士のやり取りを楽しむ。</li> </ul>					
活動における チェックリスト	<input checked="" type="checkbox"/> グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか ・保育者が一緒に活動に参加し、仲立ちとなりながら、会話を引き出したりする。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか ・写真やメモで残した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか ・子どものやってみてほしい気持ちを認めながら、「楽しいね」「それすごくいいね。」など言葉がけていく。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 ・その日に会議を行い、担任や他の職員と振り返りを行った。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。 ※教諭や保護者等への共有方法 ・保育者には、会議の時に写真を見せながら、内容を共有した。 また、保護者会でスライドショーを用いての説明、ホームページ掲載。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。 ※継続的な実施のための工夫 ・保育者間で話し合い、素材や場所、大きさなどを変えた。					

(注1) 活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

(注2) 「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

(注3) 「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。